

# 日本小児精神神経学会

## 1. 学会の会員構成等

会員数： 1, 021名  
医 師： 559名  
うち小児科： 317名  
うち精神科： 111名  
合 計： 428名

役 員： 42名  
医 師： 34名（平成16年4月）

(1)一般の小児科医・精神科医 約200人(推定)  
(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 約300人(推定)  
(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 約 30人(推定)

## 2. 対象疾患領域等

発達障害

知的障害、自閉症、アスペルガー障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害、境界知能など

摂食障害、虐待、愛着障害、不登校、排泄障害、行動の傷害、行為障害、身体化障害、適応障害、器質性精神障害、外傷性ストレス障害、強迫性障害、トゥレット障害、小児のうつ、社会的養護（施設、里親）、親支援、連携、福祉、発達検査、心理検査、診断、治療、療育 など

## 3. これまでの取り組み

学会活動内容

- ・学術集会開催（年2回）
- ・機関誌発行（年4回）

学術集会時に企画委員会による教育講演の設定

学会認定研修施設について検討中

○平成15年度

- ・第89回学会 学会企画プログラム  
軽度発達障害児の就労支援の実際と課題
- ・第90回学会 学会企画プログラム  
特別支援教育

○平成16年度

- ・第91回学会 学会企画プログラム  
特別支援教育における学際的にみたコーディネーターの役割

○平成17年度

- ・学会プログラムは行われなかった

※正確な参加人数は不明 年間約200～300名（推定）

集会の内容について

- ・学術集会は年2回（通常6月、11月）
- ・一般演題を募集する。20～30題が集まる。
- ・内容は軽度発達障害に関するものがほとんどである。
- ・また、会長講演、教育講演、シンポジウムなどの内容も軽度発達障害に関することである。

※学会が直接かかわるのは、学会企画プログラムのみであり、教育講演、シンポジウムなどは各会長の企画による。

#### 4. 今後の取り組み

平成18年度以降の計画

○平成17年度は休止していた学会企画プログラムを毎年行う。

- ・年1～2回（学術集会開催時）
- ・受講者100～150名

○日本小児精神神経学会認定研修病院については以下の条件で検討中

(1)基本的な企画として、以下の基準を満たす医療施設

- ・小児精神神経学会の評議員、理事が常勤スタッフとして居る
- ・子どもの心の診療担当の常勤医師が1名以上居ること
- ・子どもの心の診療の専門外来を週2日以上持っている
- ・臨床心理担当者（常勤・非常勤）が1名以上居る
- ・心の疾患を持つ子どもを病棟で入院治療ができる
- ・常勤医あるいはレジデントによって、研修医を受け入れることが可能である

(2)各施設から、認定研修機関として登録の企画を満たすことを示す文書と共に、認定の希望を学会事務局に選出し、その上で役員会、常務理事会の承認を得て決定する。

※現在、常務理事会で検討中であるが、14施設が認定研修機関候補としてあがっている。

※小児科医が主体の学会であるため、入院患者について症例数が多く診られる医療機関は14施設のうち2～3施設になるかと思われる。